



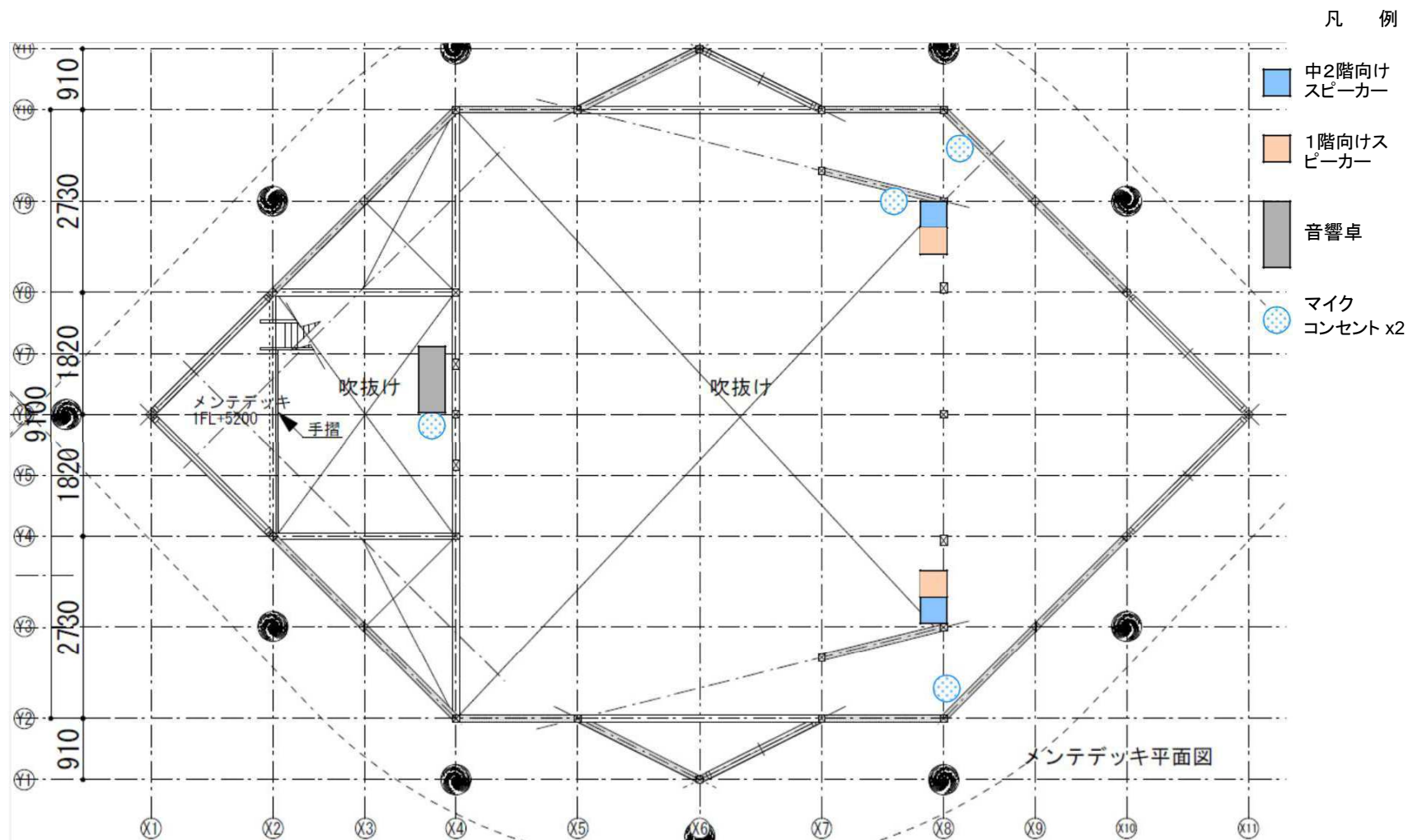
舞台音響設備ご提案

株式会社守屋電機

配置図

講演会や軽音楽会程度のSRを中心とした機器構成をしています。

ミキサーとアンプ、リミッターや効果機器(エコーやイコライザ)を別途購入した場合、金額・設置場所・メンテナンス共に上昇・煩雑になりますので、全てをビルトインしたパワードミキサーを選定しています。最適なイコライザ補正を自動計測・設定する機能も持っています



スピーカー

中二階向けに1組、1階向けに1組の計4台をステージサイド上部に設置します。
上下、左右の角度調整と共に指向性角度も調整できますので、最適なパターン設計が行えます。



メーカーサイトより転載

TOA / F-2000W 白

コンパクトスピーカー

- 8Ω180W(連続プログラム入力)
- エンクロージャ形式 バスレフ型
- 許容入力 連続ピンクノイズ:60W
連続プログラム :180W
- 出力音圧レベル 92dB(1W.1m) 半自由音場設置時
- 周波数特性 65-20000Hz -10dB 半自由音場設置時

クロスオーバー周波数

dB/Hz

■ 指向角

- 水平:110°, 垂直:100°
水平:80°, 垂直:80°(ホーンアダプター装着時)

使用スピーカー

■ 低域用:20cmコーン型

■ 高域用:25mmドームツイーター

入力端子

フットスイッチ

■ 仕上

■ エンクロージャ:HIPS ホワイト(マンセルN9.5近似色)

■ パンチングネット:表面処理鋼板 HIPS ホワイト(マンセル N9.5 近似色)

■ 寸法 244(W)×373(H)×235(D)mm

■ 質量 6.5kg(付属金具を含む)

■ 付属品

■ スピーカー金具... 1, ジョイント金具... 1, 壁金具... 1, 金具組立ねじ... 1式, ホーンアダプター... 1, ホーンアダプター取付ねじ... 4

ミキサー部の音質強化と機能の強化、内蔵パワーアンプの大出力化、内蔵エフェクターの高品位化など、基本性能を強化するとともに、操作性やデザインを大幅に向上。小～中規模イベントに最適です。



YAMAHA (ヤマハ) / EMX5016CF

- パワードミキサー
- チャンネル数:16ch
- 幅広い用途に対応した操作性、機器同士の接続/設定の手間を大幅に短縮するオールインワンコンセプトの16CHパワードミキサー。
- ハイパワー・高音質と更なる軽量化の両立、実用性・可搬性の高いデザイン。
- 3プリセット・ユーザーメモリー可能な9バンドデジタルGEQを搭載。
- 音場の周波数特性を測定し最適な補正カーブを設定するFRC機能(Frequency Response Correction System)。
- 最大出力(SPEAKERS)(@0.5% THD at 1kHz): 500W x 2(4Ω)、370W x 2(8Ω)
- 入力端子:
 - ・CH1-8:XLR(+48Vファンタム電源対応)x8、TRSフォンx8
 - ・CH9/10-15/16:XLR(+48Vファンタム電源対応)x4、TRSフォンx8、RCAピンx8
- インサート:CH1-8
- 出力端子:ST OUT(L-R)=フォン、ST SUB OUT=フォン、AUX SEND1,2=フォン、EFF SEND1,2=フォン、REC OUT(L-R)=RCピン、ヘッドホン、SPEAKERS=スピコン、フォン
- チャンネルイコライザー:HIGH:10kHz(シェルビング)、MID(Mono)250-5kHz(ピーキング)、MID(ST)2.5kHz(ピーキング)、LOW:100Hz(シェルビング)
- デジタルグラフィックイコライザー:9Band(63,125,250,500,1k,2k,4k,8k,16k Hz)、+12/-12 dB(最大可変幅)
- Preset x 3, User preset x 3
- フィードバックサプレッサー:AUTO/MANUALモード
- デジタルエフェクト(SPX):2x SPX デジタルマルチエフェクト(24 bit AD/DA,32bit 内部処理)16プログラム
- マキシマイザー:3バンドコンプレッサー on/off
- 最大出力切替スイッチ:500W+500W、200W+200W、75W+75W
- 消費電力:550W
- 最大外形寸法(W x H x D):44.4 x 15.5 x 49.3cm



株式会社守屋電機

〒250-0042 神奈川県小田原市荻窪523
電話:0465-34-4664 FAX:0465-32-4355(G3/24h)
Home Page: <http://www.moriya-dk.jp/>

Copyright(C)1980-2017 MoriyaDenki Corp. All Right Reserved.

本書の内容を無断で転載・転記・改変する事を禁じます 本書の内容は国際法に基づく著作権法により保護されています 本書の内容は転載表記が行われているものは原則として転載元に著作権が留保されています 本書の著作権は株式会社守屋電機及びグループ企業が所有しています